

20周年記念 高度産業科学技術研究所年報

序文

本年報は、2014年度（2014年4月から2015年3月）の高度産業科学技術研究所の研究成果の報告をまとめたものです。研究内容は、SPring-8 サイト内で運用する加速器施設（NewSUBARU 放射光施設、LEENA 線形加速器施設）、および研究 II 期棟でのナノテクノロジー施設、レーザー施設による研究成果の報告です。これに加えて、2014年度は高度産業科学技術研究所創設 20 周年にあたるため、ここ数年間の各研究分野の研究成果、および共同研究や産業界との共同開発などの成果をまとめて和文で紹介するとともに、代表的学術論文の紹介も掲載しました。

高度産業科学技術研究所は 1994 年に開設され、研究所組織は「光・量子科学技術大講座」と「光応用・先端技術大講座」の 2 大講座制で、5 つの研究分野、「光量子システム分野」「ビーム物理学分野」「ナノ構造学分野」「放射光ナノ工学分野」「ナノマイクロシステム分野」で構成されています。これに加えて、3 つの研究開発センター（EUV リソグラフィ研究開発センター、ナノインプリント研究開発センター、LIGA プロセス研究開発センター）と産業分析専用ビームラインを設置してプロジェクト研究と産業支援の推進を行っています。

2015 年度からは、工学研究科と協力して新専攻「材料・放射光工学専攻」を設置し、放射光施設の大学院教育へのさらなる活用を進めています。今後共の関係各位のご支援、ご鞭撻をお願いして、本年報序文とさせていただきます。

兵庫県立大学高度産業科学技術研究所長

宮本修治



高度産業科学技術研究所 玄関前にて
(兵庫県立先端科学技術支援センター 研究II期棟)



